

座標平面上に2点 $A(-1, 0)$, $B(3, 2)$ をとる. m を実数とし, 直線 $y = mx$ を l とする. 以下の問いに答えよ.

- (1) l 上の点 P の座標を (t, mt) とするとき, $PA^2 + PB^2$ を t, m を用いて表せ.
- (2) 点 P が l 上を動くとき, $PA^2 + PB^2$ を最小にする P の座標を (X, Y) とおく. X, Y を m で表せ.
- (3) m が実数全体を動くとき, (X, Y) はある曲線 C 上を動く. C の方程式を求めよ.

(13 中央大 理工 3)

$$\left(x - \frac{1}{2}\right)^2 + \left(y - \frac{1}{2}\right)^2 = \frac{1}{2}$$

解答は次のページにあります.

【チェック・チェック】

設問 (2) は軌跡がのる曲線を求めています (除外点は考慮しなくてよい)、軌跡そのものを求めることにしましょう。

【解答】

(1) A(-1, 0), B(3, 2), P(t, mt) より

$$\begin{aligned} PA^2 + PB^2 &= \{(t+1)^2 + (mt)^2\} + \{(t-3)^2 + (mt-2)^2\} \\ &= 2(m^2+1)t^2 - 4(m+1)t + 14 \end{aligned} \quad \dots\dots (\text{答})$$

← t についての 2 次関数である。

(2) (1) より

$$PA^2 + PB^2 = 2(m^2+1) \left(t - \frac{m+1}{m^2+1} \right)^2 - \frac{2(m+1)^2}{m^2+1} + 14$$

← 平方完成する。

よって、 $PA^2 + PB^2$ が最小になるのは

$$t = \frac{m+1}{m^2+1}$$

← 頂点で最小となる。

のときであるから、 $PA^2 + PB^2$ を最小にする P の座標 (X, Y) は

$$X = \frac{m+1}{m^2+1}, \quad Y = \frac{m(m+1)}{m^2+1} \quad \dots\dots (\text{答})$$

(3) (2) より

$$\begin{cases} X = \frac{m+1}{m^2+1} \\ Y = \frac{m(m+1)}{m^2+1} \end{cases} \iff \begin{cases} X = \frac{m+1}{m^2+1} \quad \dots\dots \textcircled{1} \\ Y = mX \quad \dots\dots \textcircled{2} \end{cases}$$

{①, ②} を満たす実数 m が存在するための X, Y の条件を求めよ。②をみて

← パラメータ m の存在条件

(i) $X \neq 0$ のとき ; ②は $m = \frac{Y}{X}$ である。これを①に代入すると

← ②を m についての方程式とみて、 $X \neq 0, = 0$ の場合分けをする。

$$X = \frac{\frac{Y}{X} + 1}{\frac{Y^2}{X^2} + 1} = \frac{XY + X^2}{Y^2 + X^2}$$

$$\iff X(X^2 + Y^2) = X(Y + X)$$

$$\iff Y^2 + X^2 = Y + X \quad (\because X \neq 0)$$

$$\iff \left(X - \frac{1}{2} \right)^2 + \left(Y - \frac{1}{2} \right)^2 = \frac{1}{2}$$

(ii) $X = 0$ のとき ; ②より $Y = 0$, ①より $m = -1$

したがって、点 (0, 0) は条件を満たす。

以上 (i), (ii) より、点 (X, Y) の

軌跡は

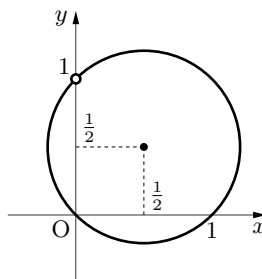
$$\text{円 } \left(x - \frac{1}{2} \right)^2 + \left(y - \frac{1}{2} \right)^2 = \frac{1}{2}$$

から、点 (0, 1) を除いたものであり、点 (X, Y) は円

$$\left(x - \frac{1}{2} \right)^2 + \left(y - \frac{1}{2} \right)^2 = \frac{1}{2}$$

上を動く。

..... (答)



← 除外点があることに注意!!